

SMBC日興証券 新丸の内ビルディング

エレクトロニクスで病魔に挑戦する日本光電 **— 事業概要と中期経営計画 —**

日本光電工業株式会社

(証券コード:6849)

2019年12月24日

取締役 上席執行役員

経営戦略統括部長 田中 栄一



本日の内容

1 会社概要・日本光電の歩み

2 長期ビジョンと中期経営計画

3 株主様への還元について

4 CSRへの取り組み



1 会社概要・日本光電の歩み

日本光電ってどんな会社？

日本光電は医療機器メーカーです

病棟



生体情報モニタ

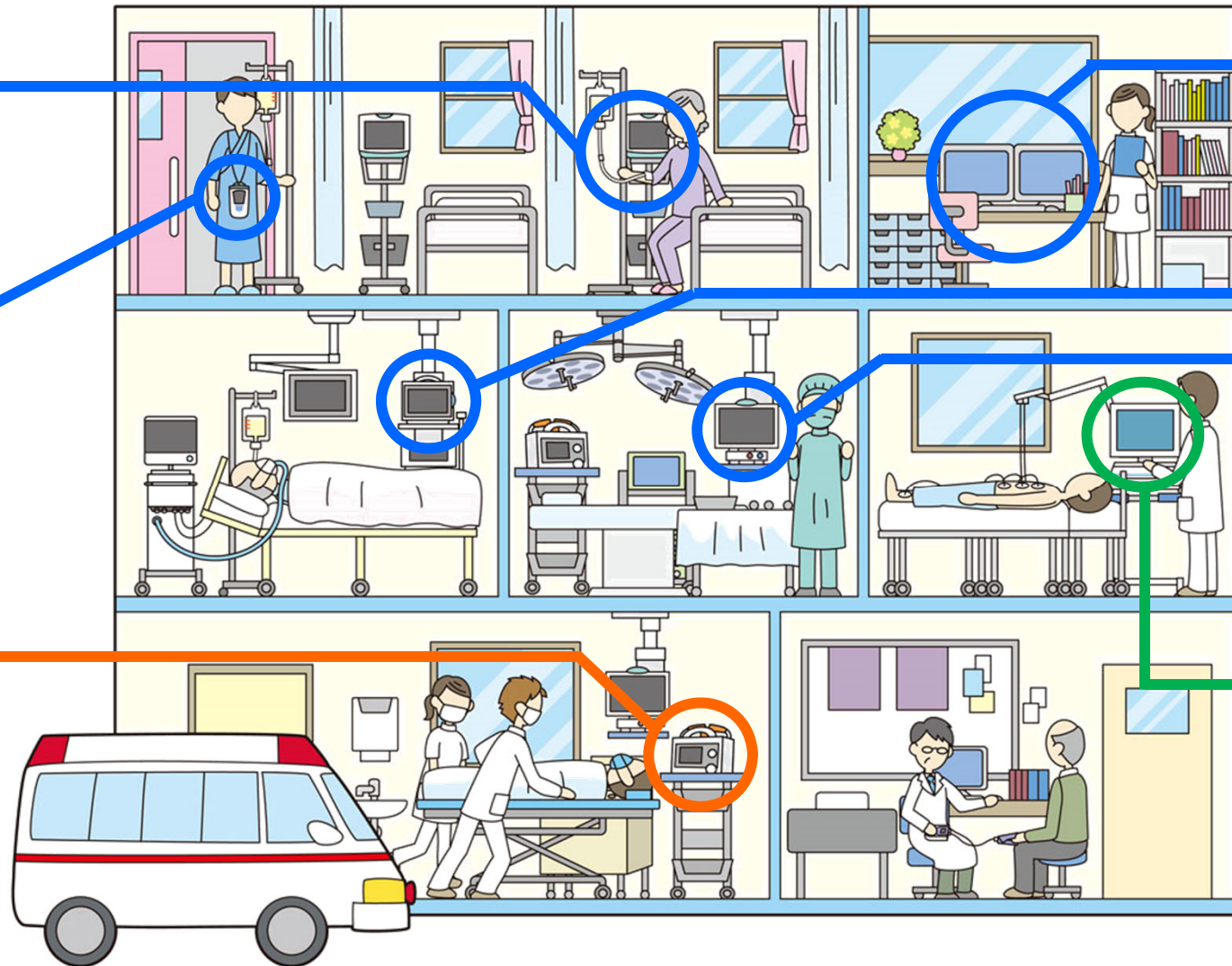


人工呼吸器

救命救急室



AED 除細動器



ナースステーション



生体情報モニタ

手術室・集中治療室



生体情報モニタ

検査室



心電計 脳波計 血球計数器

会社概要

会社名

日本光電工業株式会社

設立

1951年8月

本社

東京都新宿区西落合1-31-4

資本金

75億4千4百万円 (2019年3月31日現在)

従業員数

連結5,169名 (2019年3月31日現在)

上場取引所

東証第一部 【証券コード:6849】



代表取締役 社長執行役員
荻野 博一

富岡から世界へ —世界120ヵ国以上へ輸出—

上海光電(中国)



新興国市場向け製品を生産

マレーシア



SVM-7500

新興国市場向け
生体情報モニタ
を生産

富岡生産センター(群馬)



当社医療機器の90%を
生産するマザー工場

経営理念

**病魔の克服と健康増進に
先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に
社員の豊かな生活を創造する**

創業時から受け継ぐ想い



創業者
医学博士 荻野 義夫

「一人の医者が救える命には限りがある。
しかし、医療機器なら、それを世界中に
広めることで限りない人々に貢献できる。」



わずか12名で発足

「『これは私達が開発したんだ』と
世界に向かって大きな声で言えるような
機器を1つでも多く。」

「本当のユーザーは医師の向こう側にいる
患者さんである。患者さんに優しい機器を。」

強みはセンサ技術

患者さんに苦痛を与えない
「センサ技術」の開発に注力



1974年 パルスオキシメータの原理を
|| 世界で初めて開発
指先にセンサをはめるだけで
血液中の酸素飽和度 (SpO₂) を測定

- ・痛みがない
- ・連続して測定



医療現場で世界標準として使用されています

最初は脳波計

世界的な脳波計メーカー

1951年

世界初



全交流
直記式
脳波装置

現在

世界中の研修医を受け入れる米国トップクラスの病院が当社の脳波計を使用



第1位: ジョーンズ・ホプキンス
※全米病院ランキング

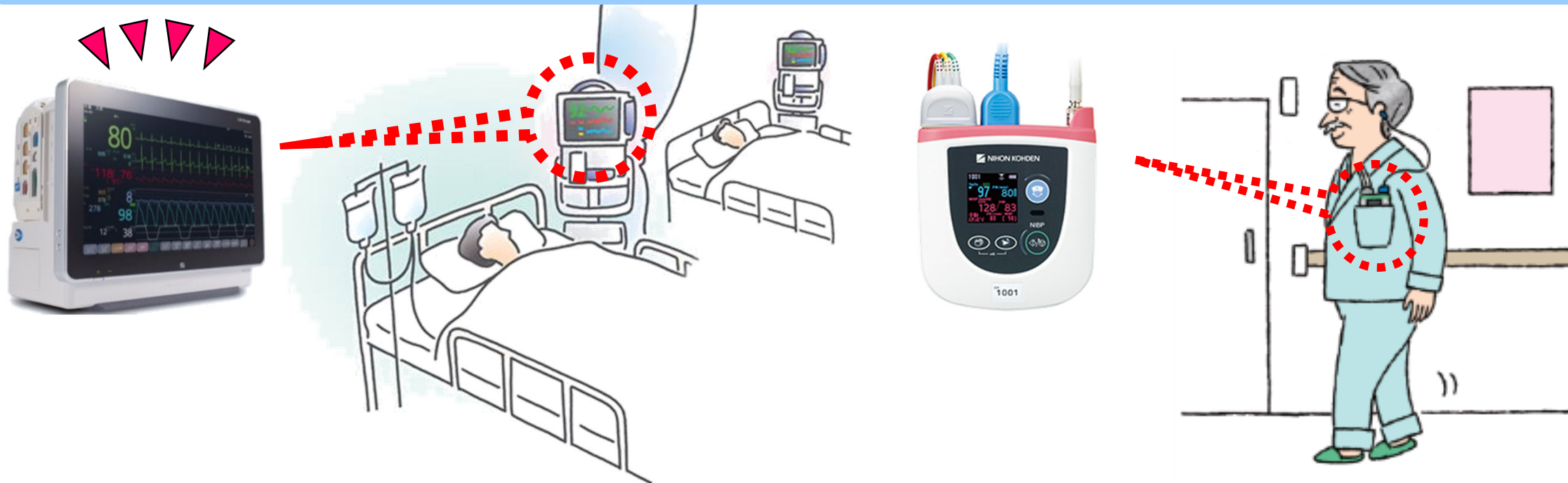


第10位: クリーブランド クリニック
神経内科・脳神経外科部門 (2019-2020年)

次に生体情報モニタ

患者さんを見守る役割

患者さんの血圧、心電図、呼吸などを連続的に測定。
血圧が急に下がった場合など、容態変化を**アラーム**でお知らせ



生体情報モニタの特長

医療の安全に貢献



「鳴り過ぎない」「見やすい」アラーム

高
重要度
低



緊急度に応じた
色分け

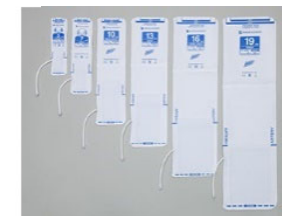
速くてやさしい血圧測定



- ・カフを加圧している間に血圧測定
- ・「痛くない」「速くわかる」



ヤワラカフ2



ディスポカフ



送信機 ZS-640P

国内唯一のAEDメーカー

AED(自動体外式除細動器)

日本企業ならではの細やかな心配りで、AEDの普及に貢献



2004年7月から一般市民も使用できるようになり、様々な施設への導入が進んでいます



♥ 全国でAED講習会を実施



♥ 東京マラソン2019をAEDでサポート

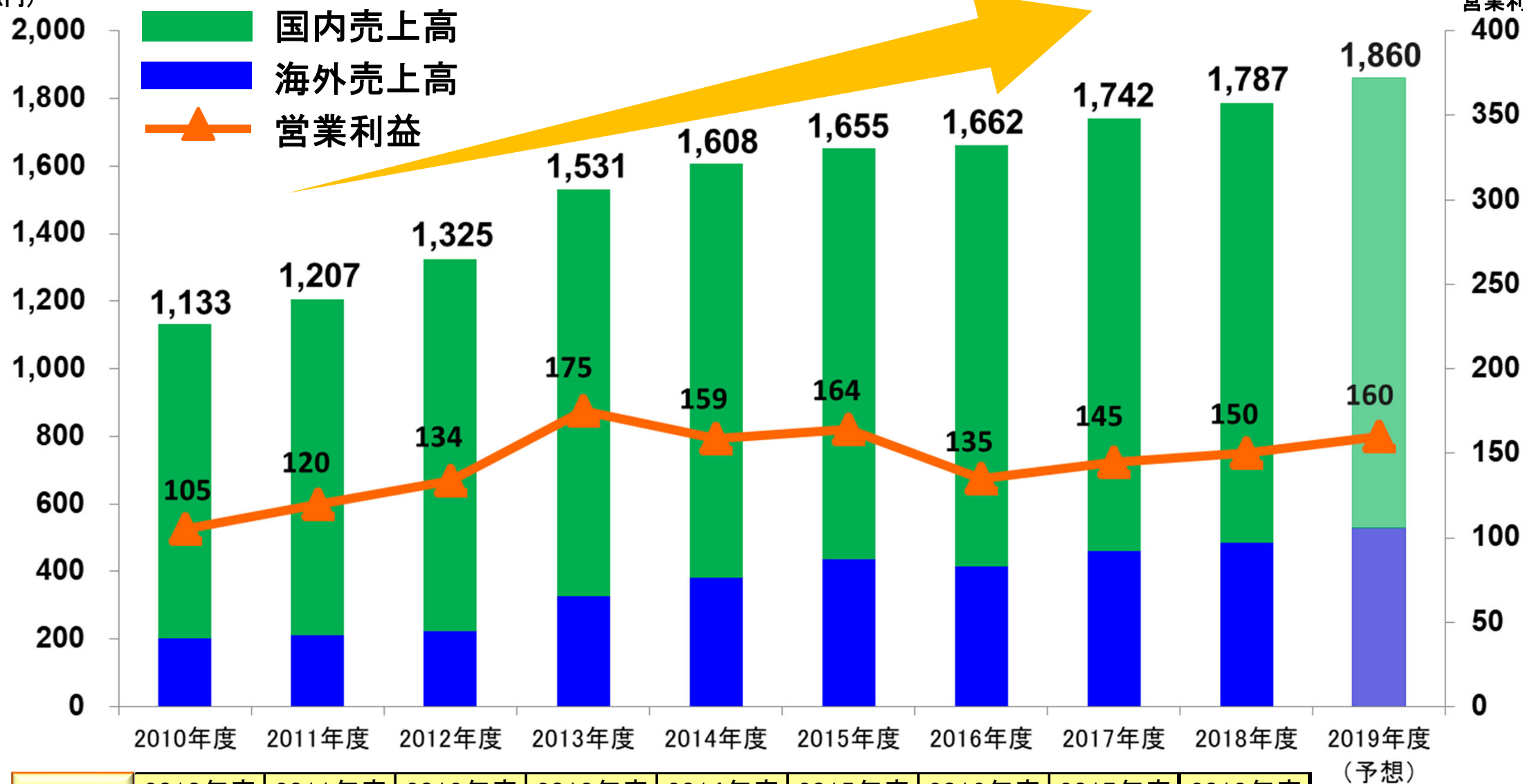




2 長期ビジョンと中期経営計画

業績推移

売上高(億円)



営業利益(億円)

ROE	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	10.9%	11.7%	12.7%	15.0%	11.9%	10.7%	9.1%	8.6%	9.9%

長期ビジョン・中期経営計画

長期ビジョン（2010/4～2020/3）

創立60周年を機に、10年後の2020年に向けた長期ビジョンを策定

The CHANGE 2020
—The Global Leader of Medical Solutions—

2020年の目指すべき将来像

世界初の
革新的技術の確立

世界最高品質の確立

グローバルシェア
No.1の獲得

中期経営計画

10年間で3つのステージに分け、中期経営計画を策定・遂行

2010年4月

2013年4月

2017年4月

SPEED UP III

Strong Growth 2017

TRANSFORM 2020

中期経営計画 TRANSFORM 2020

～高収益体質への変革～

基本方針

- 1 高い顧客価値の創造
- 2 組織的な生産性の向上

6つの重要課題

地域別事業
展開の強化

コア事業の
さらなる成長

新規事業の
創造

技術開発力の強化

世界トップクオリティの追求

企業体質の強化

人財育成・組織風土改革

4つの商品群

④ その他

血球計数器や試薬、
仕入商品など

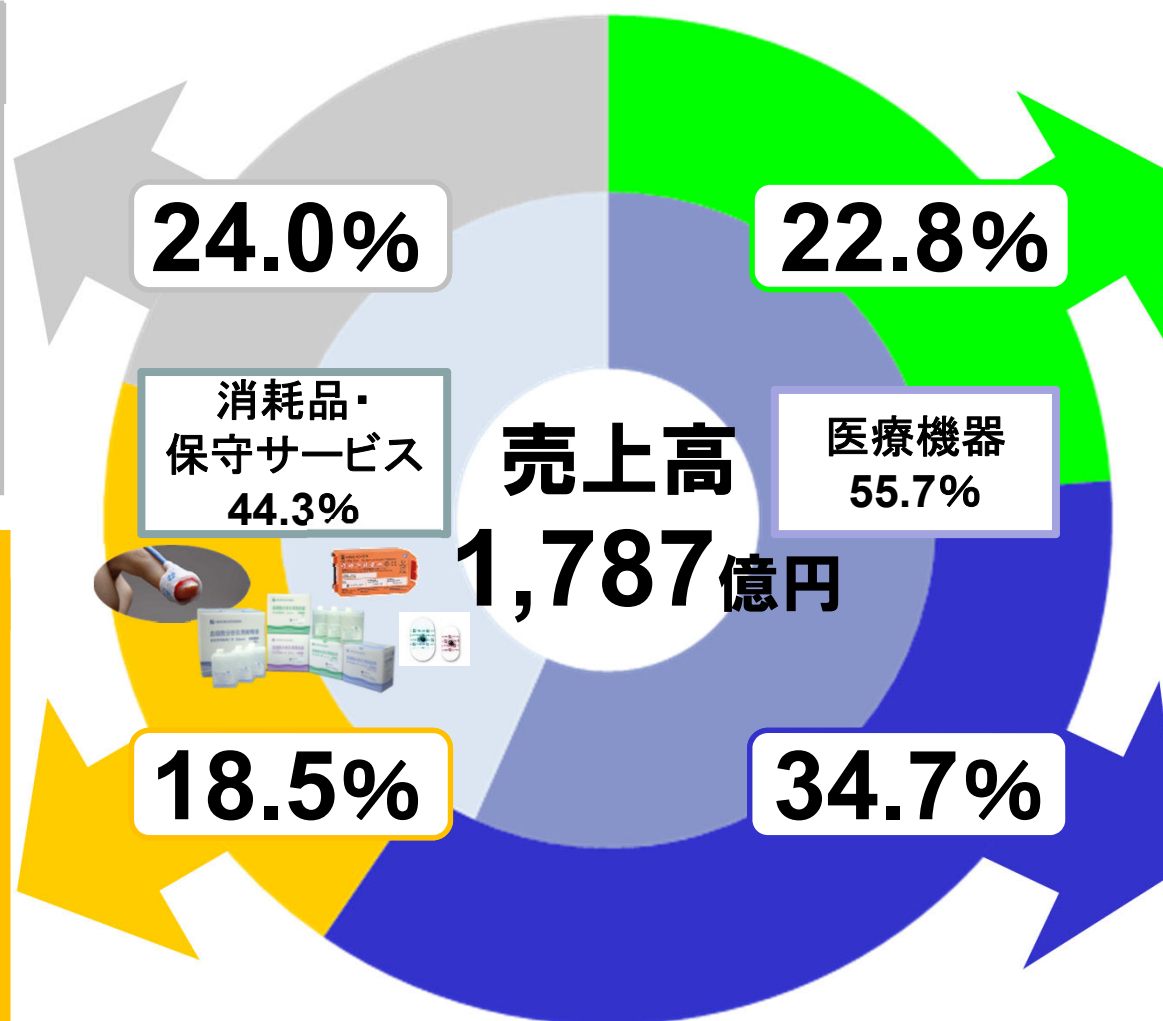


③ 治療機器

除細動器、AED、
人工呼吸器、
心臓ペースメーカーなど



売上構成比 (2018年度)



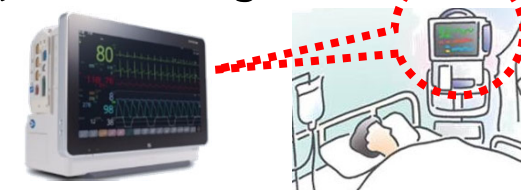
① 生体計測機器

脳波計、心電計など
の検査機器



② 生体情報モニタ

生体情報モニタ、
関連の消耗品、保守
サービスなど



コア事業の
さらなる成長

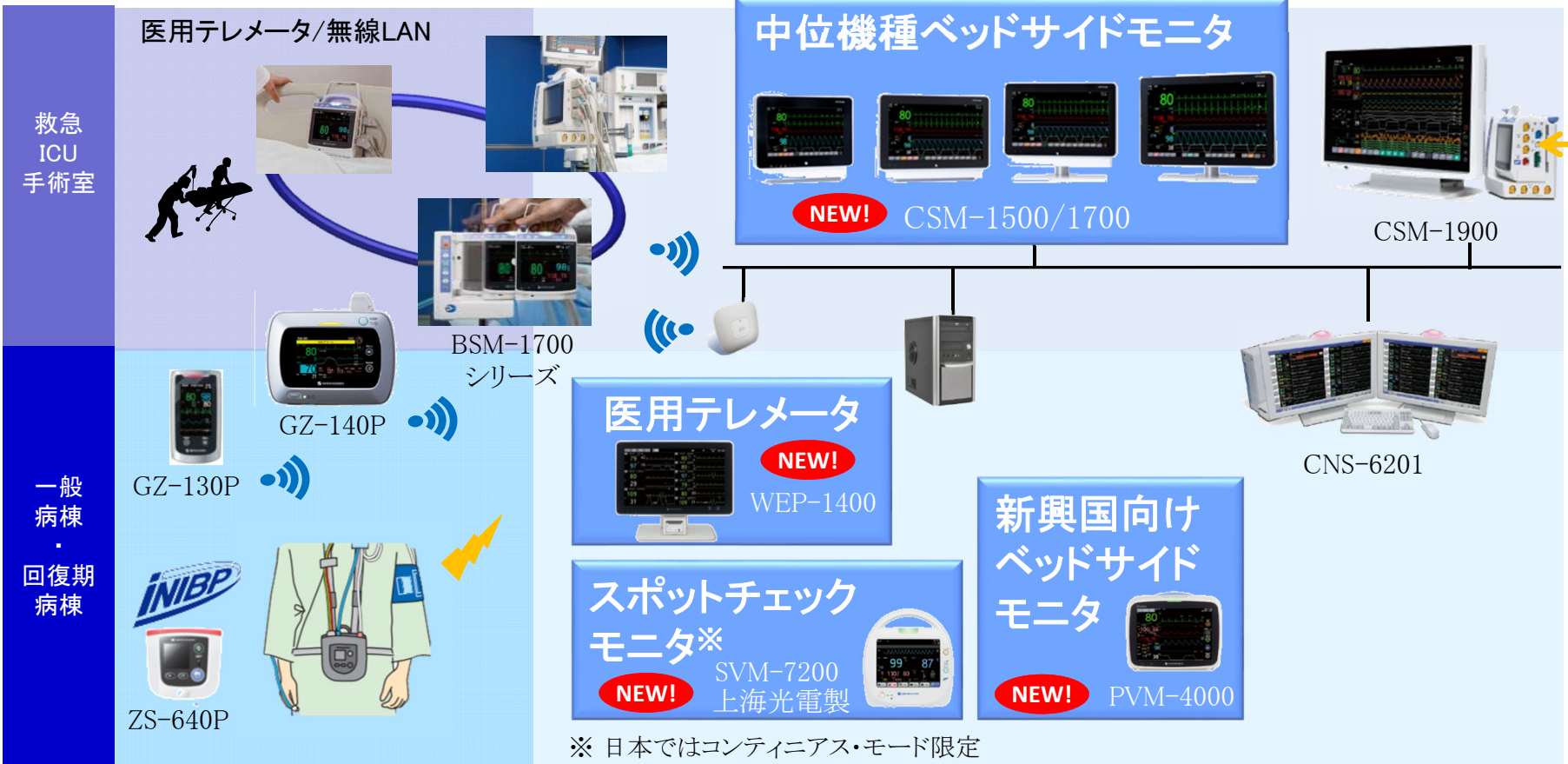
地域別事業
展開の強化

生体情報モニタリング事業

✓ 医療の質と効率、患者安全の向上に
貢献するモニタリングソリューションの提供

製品ラインアップの拡充・ネットワーク対応

コア技術の融合による
高付加価値化



ベッドサイドモニタ画面例

筋弛緩モジュール

- 筋電図計測技術を筋弛緩モニタリングへ応用
- 簡単装着でスピーディに測定開始
- 腹腔鏡手術等様々な術式に対応可能

※ 日本ではコンティニアス・モード限定

コア事業の
さらなる成長

地域別事業
展開の強化

治療機器事業

救急蘇生分野における
トータルソリューションの提供

【救急車】 



救急車搭載除細動器

NEW! EMS-1052

- クラス最小・最軽量を実現し、機動性を追求
- 操作性、モニタリング機能を向上
- 独自技術による高付加価値化



導出18誘導心電図※1



換気中のETCO₂管理を音でサポート

人工呼吸器事業の早期立ち上げ

1. NPPV※2人工呼吸器の投入

総合技術開発センターで開発

ターゲットは一般病棟

2019年度Q1発売
(日本、欧州、新興国)

《診療実績》患者さんのQOL向上

- 日本人の骨格形状にフィットするようにマスクを独自にデザイン
- フィット性の向上でリークが低減、皮膚トラブルのリスクも軽減、患者さんの快適性も向上



《医療安全》安全な呼吸管理を提供

- NPPV中もSpO₂とCO₂のモニタリングが可能



NEW! NKV-330

※1 12誘導心電図の波形をもとに、右側誘導、背部誘導の波形を演算により導出する技術

※2 Noninvasive Positive Pressure Ventilation: 非侵襲的陽圧換気。気管内挿管や 気管切開を行わない人工呼吸管理

コア事業の
さらなる成長

地域別事業
展開の強化

治療機器事業

人工呼吸器事業の早期立ち上げ

2. 日本光電オレンジメッド製人工呼吸器の投入

米国で開発・生産	ターゲットはICU	2019年度Q2 新興国発売	2019年度Q3欧州発売、 米国での臨床評価開始を予定
----------	-----------	-------------------	--------------------------------

《診療実績》

患者さんの肺保護

- 人工呼吸管理の第一人者のドクターからアドバイス
- 人工呼吸器関連肺傷害の予防を目的としたアプリケーションを提供

Gentle Lung™



《医療安全》

安全な呼吸管理を提供

- 日本光電の独自技術を搭載し、SpO₂とCO₂をモニタリング



感染リスクを低減

- 病室外からの操作が可能

Protective Control™



NEW! NKV-550



コア事業の
さらなる成長

地域別事業
展開の強化

世界の医療機器市場

年平均5%成長。
米国、新興国が牽引

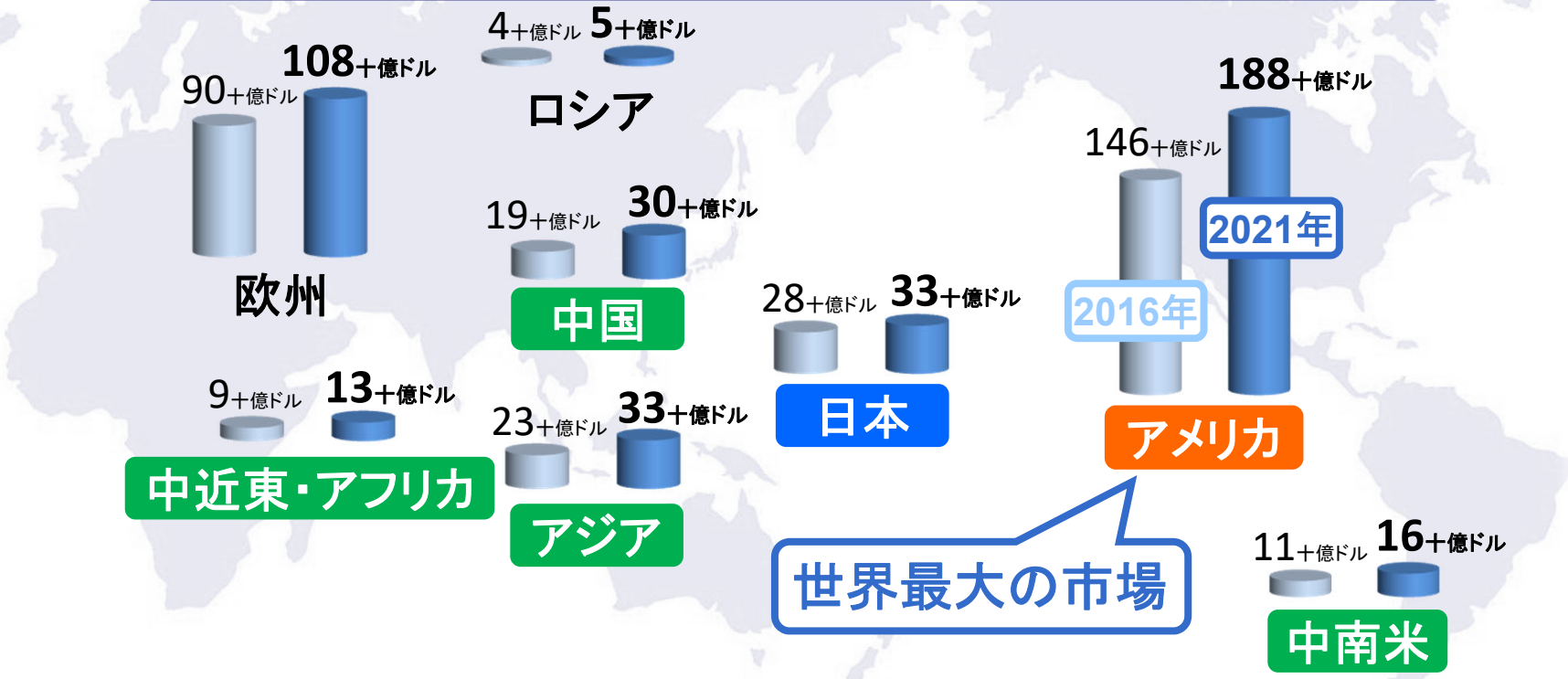


3つの地域
に注力

日本

アメリカ

新興国



出所: Medistat Worldwide Medical Market Forecasts To 2020. BMI Research

※1ドル=110円で換算

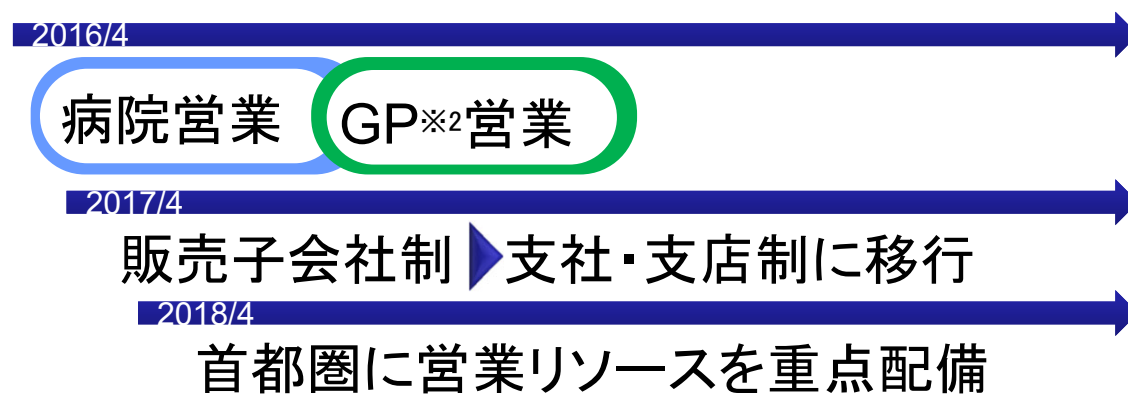
日本：高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤の構築

✓ 新製品・サービスの投入による市場別事業展開の強化



※1 日本ではコンティニアス・モード限定

✓ 販売・サービス体制の強化・再編



「顧客価値提案」の推進

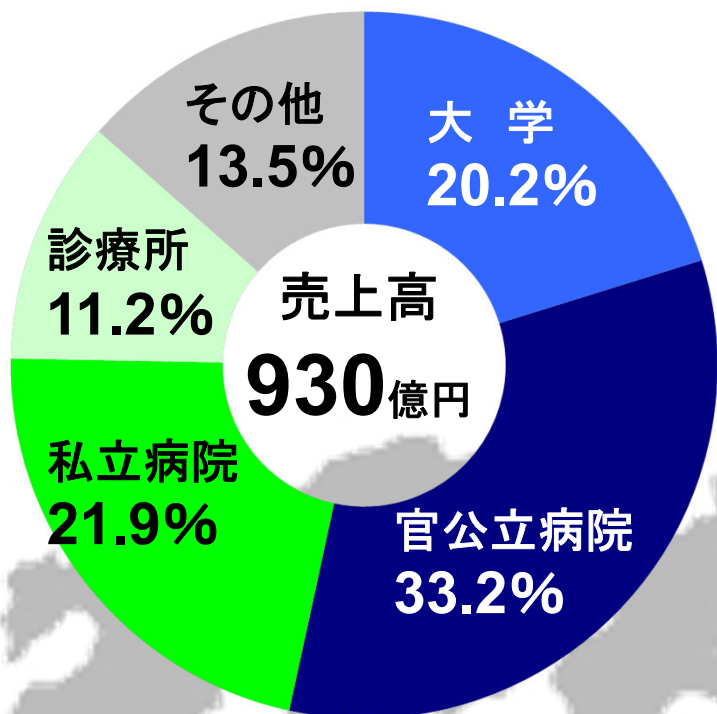
医療安全 診療実績 業務効率 につながる
提案営業力の強化、サービスの拡充



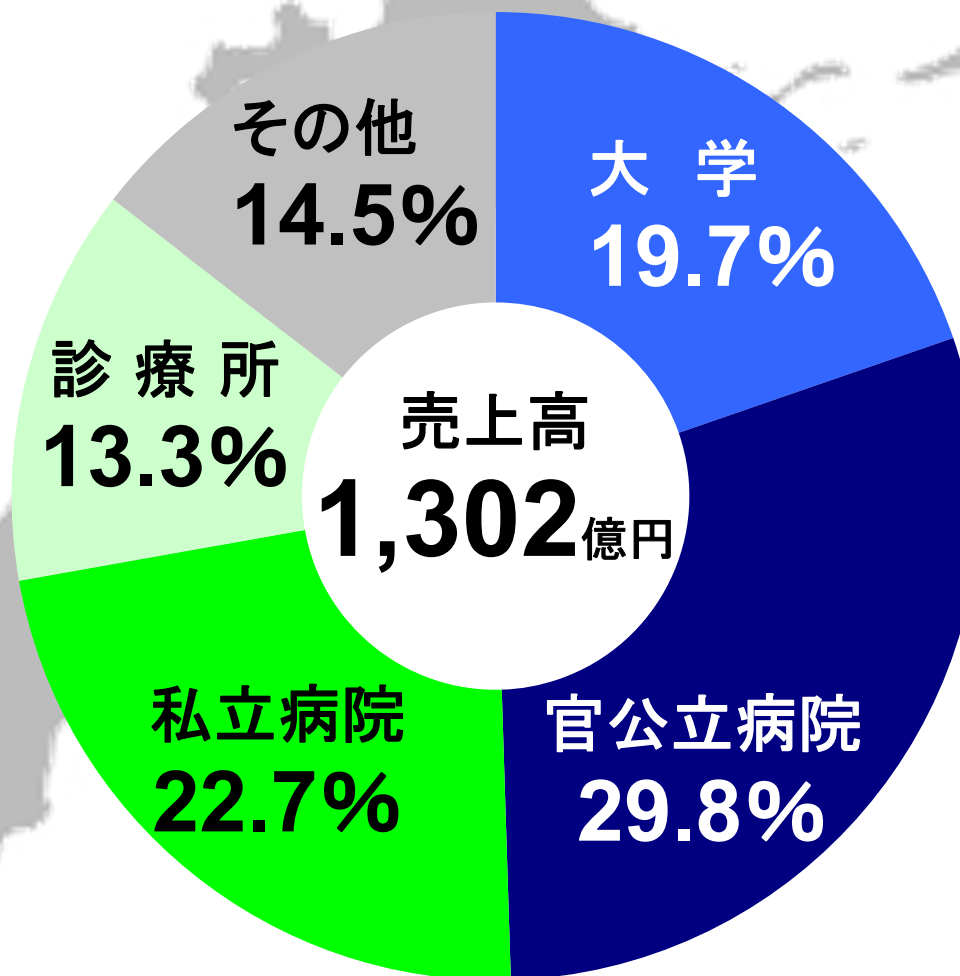
※2 GP: General Practitioner 総合診療医

地域別売上高 ー日本ー

2010年度



2018年度



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

世界最大・最先端のアメリカでの事業基盤の強化

✓ 医療の質と効率の向上に貢献するソリューションの提供

✓ スポットチェックモニタの投入により、院内の全ての患者データの一元管理が可能に

生体情報モニタ

生体情報モニタ
市場シェア目標12%



治療機器

defibtech



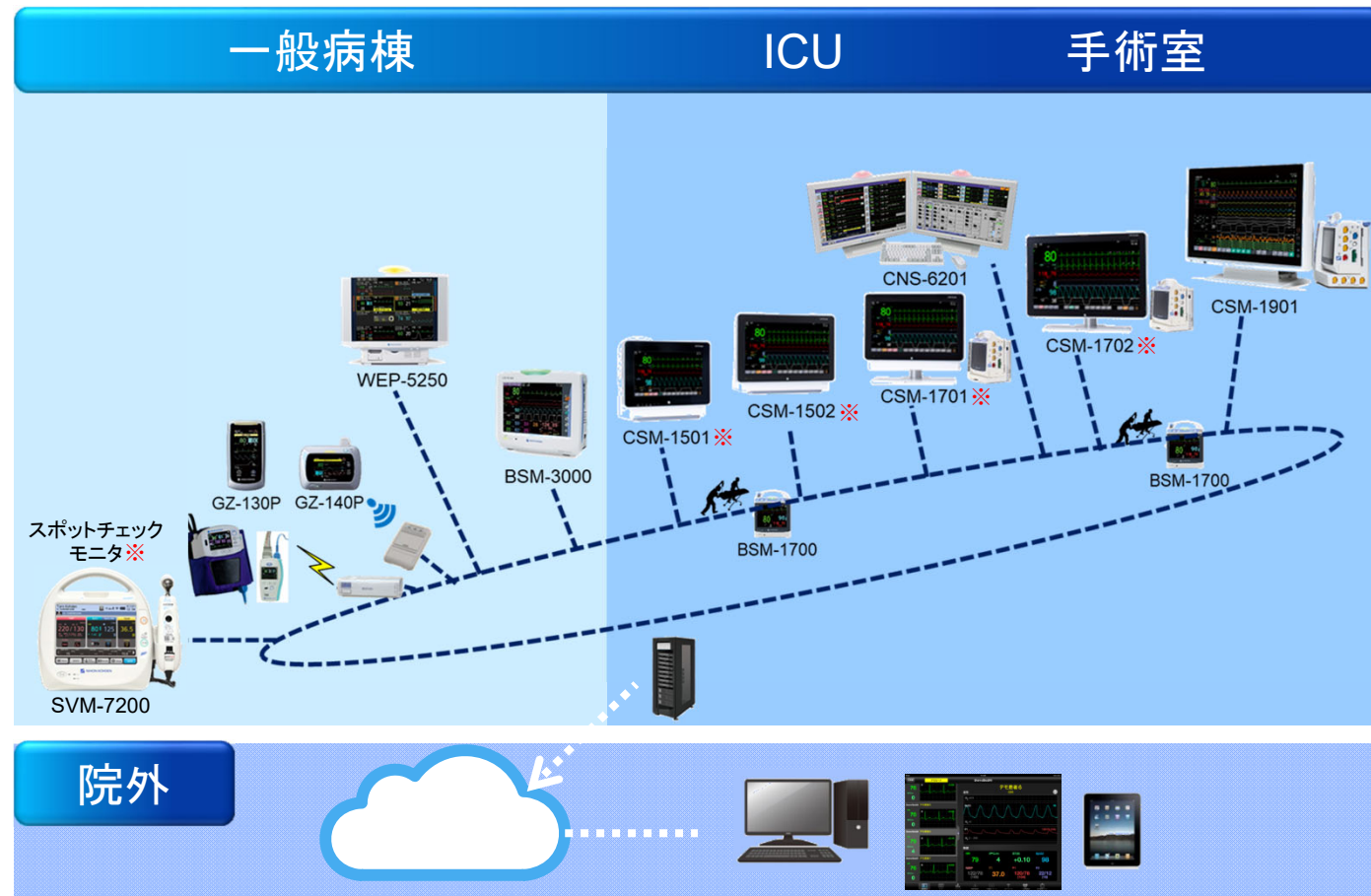
脳神経系群



人工呼吸器市場への参入

2019年度下期
米国での臨床
評価を開始

2020年度
日本光電アメリカ
が販売予定



※スポットチェックモニタは2019年度下期発売予定。
CSM-1500/1700は2020年度上期FDA申請予定。

新興国市場の医療ニーズに応える戦略的事業展開

✓ 新製品の投入による提案力の強化



✓ 上海光電製のラインアップ拡充
✓ 輸出の拡大



サウジアラビア
政府案件で
モニタ商談受注
(CSM-1700・1,000台)



ドバイ
検体検査試薬工場設立
(2020年度生産開始予定)



日本光電
ミドルイースト

日本光電
インド

上海光電

日本光電
コリア

NKS
バンコク

日本光電
マレーシア

日本光電
シンガポール

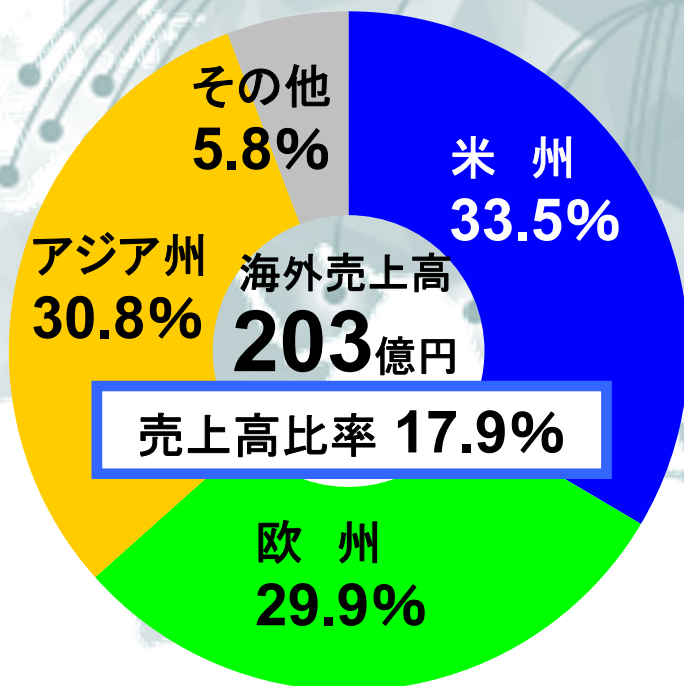
日本光電
メキシコ

日本光電
ラテンアメリカ

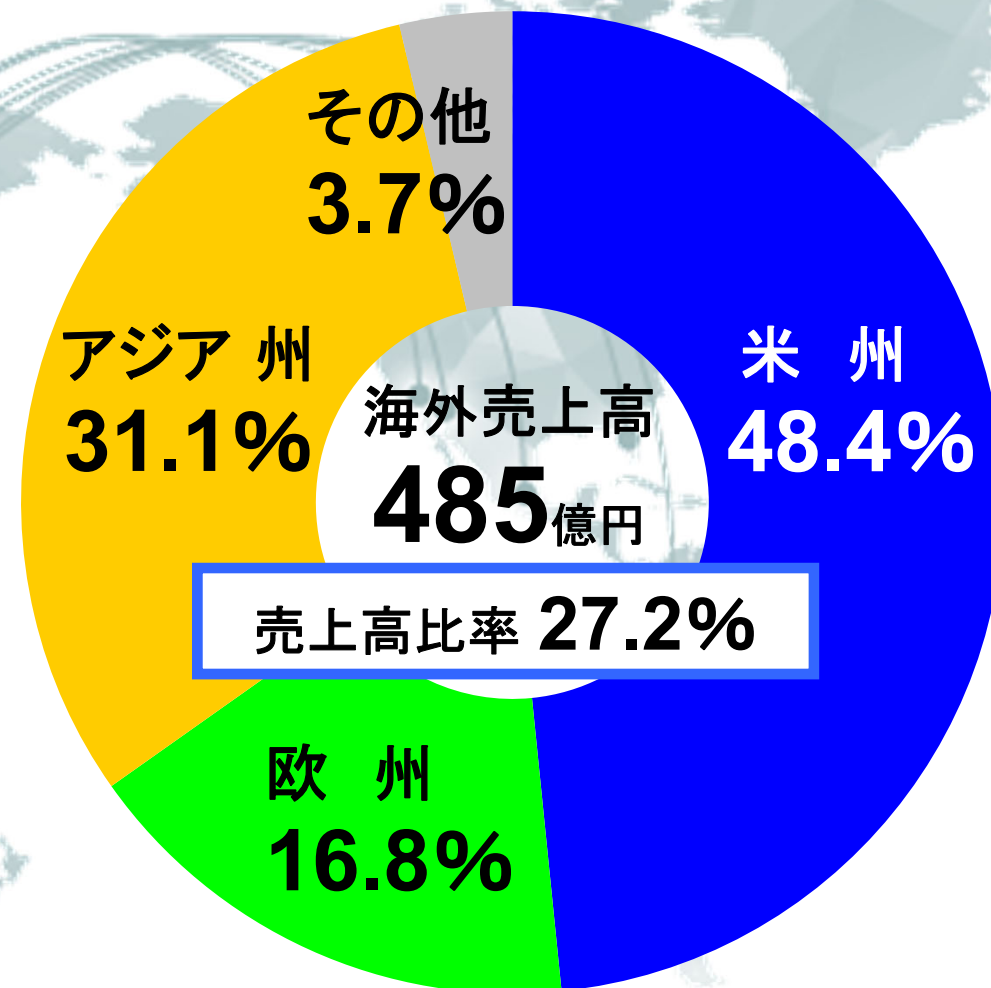
日本光電
ブラジル

地域別売上高 — 海外 —

2010年度




2018年度



医療に国境はない

「医療に国境はない」

**国や主義を超えて
人の病をいやすため
先端技術で挑戦**



3 株主様への還元について

株主様への還元

利益配分の基本方針

- ✓ 成長投資を継続
- ✓ 長期に亘って安定的な配当を継続
- ✓ 連結配当性向30%以上を目標

研究開発

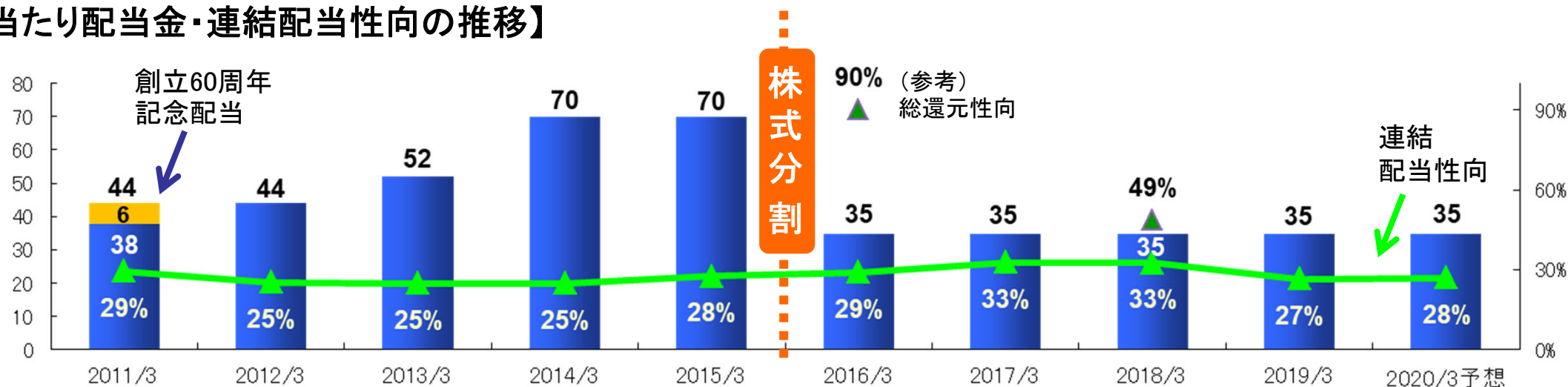
設備投資

M&A、提携

人財育成

【1株当たり配当金・連結配当性向の推移】

(円)



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき、2株の株式分割を実施。2014年度までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載。

自己株式の取得・消却状況

2018/3/2
50万株を取得



2018/5/21
100万株を消却



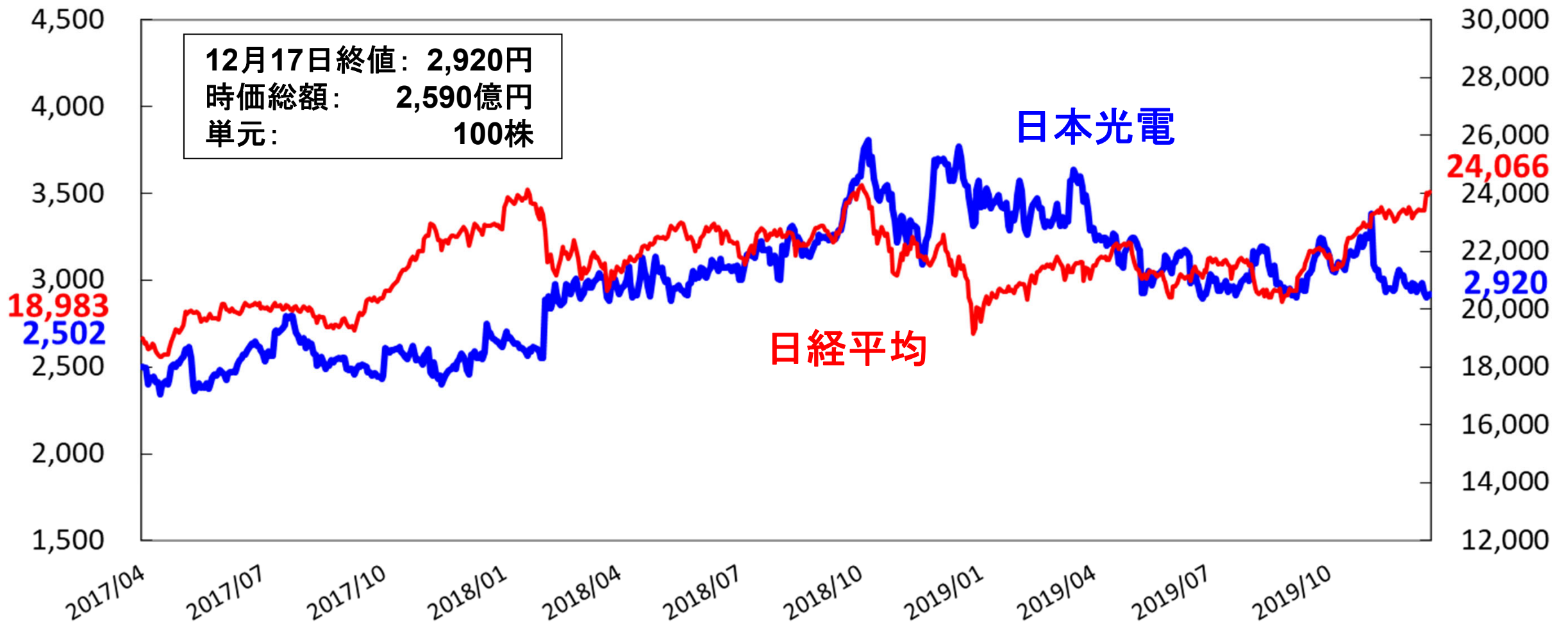
自己株式保有: 357万株
(持株比率: 4.0%)

配当利回り: 1.2%
(12月17日株価: 2,920円)

株価推移 (2017年4月3日～2019年12月17日)

日本光電(円)

日経平均(円)





4

CSRへの取り組み

CSR(企業の社会的責任)への取り組み

医療

- ✓ 全社員が心肺蘇生+AED講習会を受講



- ✓ 心肺蘇生とAEDの普及活動



メキシコへのJICA
民間技術普及促進
事業に採択

環境

- ✓ 環境配慮型製品の提供

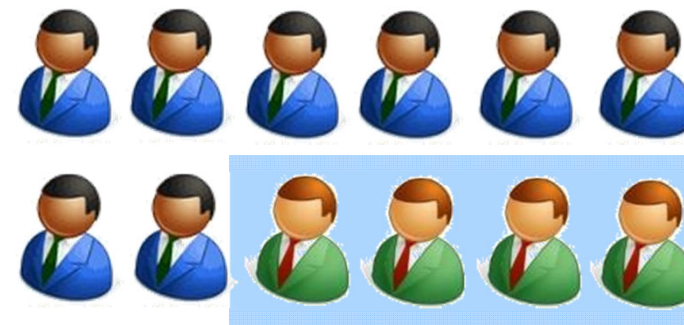


ホルター心電計 RAC-5000シリーズ

- 「仮り貼り可能」電極
- 有害物質不使用
- 鉛フリー化

企業活動

- ✓ 独立社外取締役の比率 1/3



社外取締役4名

社会的責任投資(SRI)
指数の構成銘柄に選定



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



2019 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

株式情報

日本光電は JPX-NIKKEI 400 「JPX日経インデックス400」採用銘柄です

日本光電	2016年度	2017年度	2018年度
ROE	9.1%	8.6%	9.9%
営業利益	135億円	145億円	150億円
時価総額(2019年12月17日時点)	2,590億円		
独立社外取締役 (取締役総数の1/3 or 3名以上)	○(4名で1/3以上)		

2016年6月『監査等委員会設置会社』に移行しました

ホームページのご案内

当社ホームページを是非ご覧ください。

日本光電

検索

〈IR情報〉

<https://www.nihonkohden.co.jp/ir>

〈AED情報〉

<https://www.aed-life.com>

〈テレビ・映画で活躍する日本光電製品〉

<https://www.nihonkohden.co.jp/ippan/media.html>

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】TEL03-5996-8003